

令和4年度 前期 学校教育評価集計 改善に向けて

2022年 7月22日

保護者アンケート回収率91%

1 学校経営

内容	分析・重点取組事項
(11)生徒は、目標を立てて努力している。	<ul style="list-style-type: none"> ・WITHコロナで、できるだけ工夫して行事を行う努力を行いました。肯定率が安定しているのは制限の中ではあるが昨年度よりも充実感が味わえたからと思います。しかし、行事ごとに全体や個人の目標を立てる場面は多くありますが、自己評価に繋がっていないことが考えられます。反省を元に次に生かす過程を大切にしていきます。さらに全教職員が生徒一人一人に目を向けた組織的な取組を大切にして、学校教育活動への理解が高まるようにしていきます。
(13)生徒の学校生活は、楽しく充実している。	
(16)生徒は、学校の行事に満足している。	

2 教育課程・学習指導について

内容	分析・重点取組事項
(5)学校は、分かりやすい授業を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者も教員も家庭における学習時間が少なく感じています。そして生徒自身も自覚しています。宿題の提出はできていますが全体的な家庭学習時間が不足し学力に繋がる取組ができていないことが覗えます。タブレットを用いた学習など具体的な方法を提示し、家庭との連携を大切にして、学習習慣の定着を図っていきます。夏休みの「学び舎」や2学期からの全学年朝ドリル学習など自主的に学習する機会を増やし、分かる喜びを実感する体験の機会を工夫します。
(9)生徒は、基本的な学習内容が定着している。	
(10)生徒は、家庭学習を1日平均2時間以上している。(塾も含む)	

3 健康・安全管理について

内容	分析・重点取組事項
(12)生徒は、家で規則正しい生活をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や学校側の心配は数値に出ています。昨年度に比べ、内子町のルール等を意識して使用できている生徒が減少傾向にあります。学活やホームルーム等でことある度に話題に取りあげ、SNS等の弊害を啓発していきます。 ・新型コロナウイルス感染予防対策については、「感染警戒期 特別警戒期間」に入り継続して行っています。マスクや手洗い等、生徒それぞれの意識も高く全体的に評価が高いです。更に、事故防止の観点でも毎日の点検を引き続き徹底していきます。
(14)生徒は、SNSの機器(スマホ等)を内子町のルールを守って利用している。	
(17)学校は、生徒の安全を考えて、環境を整備している。	

4 生徒指導について

内容	分析・重点取組事項
(2)学校は、いじめに対して真剣に取り組んでいる。	<p>・守り育てる協議会や民生児童委員連絡会等で、学校の様子を伝えてきましたが、依然として(2)(3)の回答率が低いのは、保護者全体に学校の取組が見えてにくいためでしょう。事例が発生した場合、学年部単位で学年主任や学級担任、養護教諭やスクールカウンセラーとチームで定期的に話し合いをもち、家庭との連携や生徒への支援等について対策を考えています。実際に不登校生徒の人数も減少傾向にあります。今後も、家庭の理解を得ながら、根気強く取り組んでいきます。カウンセリングを希望する生徒や保護者が増えています。そして、その後好転していくケースも増えています。</p> <p>・挨拶については、生徒、保護者と、学校側の捉え方の違いが見られます。地区懇談会では、地域の方から部活動帰りの生徒の明るい挨拶を褒めていただきました。反面、学校生活では、個人では挨拶や返事ができない生徒も見受けられます。今後も、新しい生活様式を踏まえた上で、家庭や地域で気持ちのよい挨拶ができるように、校内での指導を継続していきます。</p>
(3)学校は、不登校に対して真剣に取り組んでいる。	
(4)学校は、生徒が相談したことに対して適切に対応している。	
(6)生徒は、挨拶がよくできる。	
(7)生徒は、交通ルールを守っている。(自転車の乗り方等)	
(8)生徒は、思いやりの気持ちを持ち社会のマナーを守っている。	
(18)学校は、心や体の健康に気をつけ、処理や連絡をしている。	

5 保護者・地域との連携について

内容	分析・重点取組事項
(1)学校は、通信、HP等で学校の様子を分かりやすく伝えている。	<p>・学校便り、学級通信の定期発行、HPの適宜更新等により、発信や伝達を大切にしています。肯定率が高い事から、情報が以前より行き渡っていると考えたいです。HP等にタイムリーに情報を載せていくことと共に、プリント類については確実に保護者に届くように生徒への指導を徹底する必要があります。今回は学校評価をWEB上で、それぞれのご家庭の端末を使ってできるように工夫しましたが、34%の回収にとどまりました。紙媒体による回答も用意することで、91%の回収ができましたが、徐々に保護者の方の負担の少ない方法を模索していきます。</p>
(15)生徒は、家の人と会話をしている。	
(19)保護者は、学校や地域と連携を図っている。	